

い  
て  
ふ



「毛利家の雛まつり」(毛利博物館で4月7日まで展示中)

化学療法室を4階に移転し、  
快適な環境を整えました

- 課題解決のアプローチを学ぶ管理職研修
- 看護部が災害看護の研修会を実施
- 特定技能外国人の受入れを始めました

3月  
2024

## 化学療法室を4階に移転し、快適な環境を整えました

化学療法を受ける患者さんが、安心・安全に治療を継続できるように、令和5年12月、化学療法室を1階の外来診察室の一角から、4階に移転し、快適な治療環境を整えました。



### 「がん治療における化学療法とは」 消化器外科医師 釘宮成二

がんの治療には、主に「手術」「化学療法」「放射線療法」があります。現在、消化器癌においては、全身治療として、腫瘍の縮小、再発抑制、症状緩和などさまざまな場面で「化学療法」が重要な役割を担ってきています

「化学療法」には、従来の抗がん剤治療だけでなく、様々な癌腫で免疫療法が適応となっています。治療効果が期待できる一方で、副作用にも十分に気を付けなくてはなりません。

治療効果や副作用の出現状況は、個人個人で全く異なっており、適切なマネジメントが必要となってきます。治療継続には、相互の信頼関係が重要です。

このたび、4階フロアに化学療法室が移転し、落ち着いた環境での専門スタッフ、薬剤師による、副作用の聞き取りや日常生活面での注意点などの相談がさらに充実しています。治療に対する疑問や質問、困りごとなどがあれば、ご遠慮なく声をおかけください。



### <外来看護師メッセージ>

これまで手狭な外来診察室の一角で、ゆっくりと会話するゆとりもありませんでしたが、移転後は集中して業務にあたることができ、迅速な対応や十分なコミュニケーションが図れるようになりました。今後はより一層、患者さんのセルフケアや意思決定を支援するために、多職種によるサポート体制の構築に努めていきます。



## ■ 中長期的なビジョンに基づく 課題解決アプローチを学ぶ管理職研修

2月13日、千葉大学病院副院長、ちば医経塾塾長の井上貴裕先生に「データから見える防府消化器病センターの現状と課題」と題してご講演いただきました。

管理職研修の一つとして、中長期的なビジョンに基づく課題解決アプローチについて学びました。全国のデータに基づいて、当院がどうあるべきか、ご教示を賜りました。質の高い医療そして温かみのある医療の提供のためにも、ワンチームで目指すべき姿に向かってまいります。



さまざまなデータから病院経営の現状を分析し、中長期視点で課題解決していきましょう

## ■ 看護部が「災害看護」の研修会を実施

2024年2月9日、災害看護専門看護師 寺田英子先生を昨年に続き、講師にお招きし、「災害看護 能登半島地震の現状と今、当院の看護師に伝えたいこと」と題してご講演いただきました。

能登半島地震では死者約240名、災害関連死約15名と報告されています。寺田先生は、災害看護師として1月末に現地入りし、その体験もお話いただきました。

エコノミー症候群が重症化すると、死亡率は雑魚寝の避難所で6倍に増えるといわれており、先進国では発災直後から避難所内のベッド設置や、プライバシーが保てるテント村を設置される場所もあるそうです。日本の避難所の現状は、コロナ禍で若干プライバシーが保てるようになったものの、昭和時代とほぼ変わらず、体育館での雑魚寝が主流、真冬の能登での避難生活がいかに過酷かという様子が伝わってきました。



能登半島地震の被災地で災害看護師として活動しました。大変厳しい現状が続いており、災害関連死の予防こそ看護師の役割だと思いました

また、被災した自治体職員や医療従事者が不眠不休で災害対応するのも海外では「人権侵害」「ハラスメント」と言われるそうです。

被災地の厳しい現状を聞き、看護師が被災地に支援に行く目的は何なのか、寺田先生は災害関連死の予防こそが看護師の役割、予防には居住環境、衛生・感染症対策、トイレ対策、健康管理が重要、これらはナイチンゲールが説いている「看護とは」と同じなのだという先生の強い思いを聞かせていただきました。今回の災害研修で学んだことをこれからの実践に活かせるようにしていきたいです。

看護部教育委員会 西藤有香



## 特定技能外国人の受入れを始めました 看護部 中村章子

令和6年2月1日、特定技能外国人2名を看護補助者として採用いたしました。母国語は違うものの、看護を大切にする心は同じです。今後、協働して質の高い看護サービスを提供していきたいと思ひます。



イイモン      シュエー ジン ピョー

ミャンマーから来ました。早く仕事に慣れるよう、がんばっていきたくひです。よろしくお願ひします。

### 3月の外来診療予定表

	診察室	月	火	水	木	金	土
午前	1診	三浦	釘宮	三浦	-	-	外来は休診ですが、医療機関からのご紹介患者さんのみ常勤医師が対応します。
	2診	外山	-	-	外山	外山	
	3診	釘宮	奥田	釘宮	奥田	奥田	
	5診	-	竹尾	竹尾	竹尾	大平	
	6診	藤原	大平	-	大平	佐伯	
午後		丸岡	平田	4/3~三浦	三浦	三浦	休診

診療日時	受付時間	診療時間
午前 (月~金)	8:00~11:00	8:30~
午後 (月・火・木・金)	13:30~16:30	14:00~

現在休止中の水曜日午後は  
4月3日から診療を開始します。

※都合により代診になる場合があります。

※出張等で担当医が不在の場合もありますので、受付またはお電話でお問ひ合わせください。

## 一般財団法人 防府消化器病センター

山口県防府市駅南町 14-33 TEL: 0835-22-3339 (代表)

【電車・バス】 JR 防府駅よりバス2分 防府市役所前下車または JR 防府駅より徒歩 10分

【お車】 山陽自動車道 防府東または防府西インターから 10分

公式サイト Instagram



<https://www.hotu-icho.or.jp>

## Editorial Note

3月といえば桃の節句でしょうか。随分と過ぎやすくなりました。先月初め、昨年受審した病院機能評価認定の通知をいただきました。一定基準の安心安全な枠組みと運用が整ったとご評価いただきましたが、質向上にむけての一つのステップと考えています。引き続き、デジタルトランスフォーメーションによる効率的な安全性、そして人の温かみやコミュニケーションで構築すべきことなどを適切に融合しつつ、当センターとして目指すべき姿を目指してまいりたいと思ひます。季節の変わり目、ご自愛くださいませ。 事務局長 栗林 左知